



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月31日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4220 URL <https://www.rikentechonos.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	71,781	3.0	4,138	6.2	4,227	5.1	2,361	27.6
30年3月期第3四半期	69,678	7.6	3,897	△8.0	4,022	△6.3	1,850	△8.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 2,341百万円(△33.3%) 30年3月期第3四半期 3,511百万円(150.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	36.67	35.45
30年3月期第3四半期	30.83	27.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	96,010	55,605	50.3
30年3月期	91,866	54,854	51.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 48,259百万円 30年3月期 47,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年3月期	—	6.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	5.7	6,300	16.7	6,100	12.7	2,900	14.3	45.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期3Q	66,113,819株	30年3月期	66,113,819株
31年3月期3Q	1,156,795株	30年3月期	2,005,873株
31年3月期3Q	64,405,803株	30年3月期3Q	60,011,922株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当期四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産活動は災害の影響収束により持ち直しており、設備投資は底堅く推移し、全体として緩やかな回復傾向となりました。

海外では、米国経済は個人消費を中心に引き続き堅調に推移し、欧州経済は内需の拡大により緩やかに回復しております。中国経済は米中貿易摩擦などによる先行き不透明感の影響もあり持ち直しの動きに足踏みがみられました。

産業別には、国内の自動車業界は、軽自動車の販売が伸びたものの普通自動車の販売が減少し、全体として微増となりました。建材業界は、住宅着工件数が微減となりました。家電業界は、安定した買替需要に支えられ、堅調に国内出荷金額を伸ばしました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。

その結果、売上高は71,781百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)3.0%増)、営業利益は4,138百万円(前年同期比6.2%増)、経常利益は4,227百万円(前年同期比5.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,361百万円(前年同期比27.6%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### [コンパウンド]

国内のコンパウンド事業のうち、塩ビコンパウンドは、建材市場の住宅向けが減少しましたが、電線市場を中心に好調に推移し全体として増収となりました。エラストマーコンパウンドは、主力の自動車市場にて拡販が進み、電線市場も好調に推移した事から増収となりました。

海外では、米国現地法人においては自動車市場、電線市場にて低調に推移しましたが、タイ現地法人においては自動車市場および電線市場にて、インドネシア現地法人、中国現地法人においては電線市場にて好調に推移し、海外全体では増収となりました。

セグメント損益につきましては、国内は原材料価格の改定に伴う、製品価格の適正化が進み、増益となりましたが、米国現地法人の影響が大きく、全体としては僅かに減益となりました。

その結果、売上高は50,545百万円(前年同期比2.9%増)、セグメント利益は3,836百万円(前年同期比0.3%減)となりました。

#### [フィルム]

国内のフィルム事業のうち、建装材市場の住宅分野では、新築住宅着工件数は微減で推移しましたが、顧客の在庫調整も落ち着き増収となりました。非住宅分野ではオフィスビル、ホテル、物流施設等の新築、リニューアル等の需要は堅調ながら、流通在庫の調整もあり微減となりました。メディア関連はやや回復し、全体として微増となりました。

輸出は、建装材市場では、北米向けのペースがやや落ち、欧州向けは依然回復の兆しが見えませんが、中国向けが新規顧客の採用を含めて堅調に推移したものの、減収となりました。電線市場では、自動車用は日系、非日系顧客とも順調に推移し、民生用は低迷しましたが、増収となりました。光学分野では、大型案件の量産化により、増収となりました。

セグメント損益につきましては、光学分野の数量増と生産性の改善が寄与し、損失は改善しました。

その結果、売上高は10,098百万円(前年同期比4.9%増)、セグメント損失は35百万円(前年同期は242百万円の損失)となりました。

#### [食品包材]

国内の食品包材事業においては、飲食店および家庭用小巻ラップでは拡販が進みましたが、食品スーパー向け業務用ラップでは新規拡販が進んだものの、水産品の入荷不足等による需要の低迷から既存顧客向け販売が振るわず、全体の売上は横ばいとなりました。

中国現地法人においては、拡販が進み増収となりました。

セグメント損益につきましては、製品価格の適正化が遅れ減益となりました。

その結果、売上高は8,251百万円(前年同期比0.1%増)、セグメント利益は415百万円(前年同期比23.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は96,010百万円(前連結会計年度末比4,143百万円増加)となりました。これは主に現金及び預金や売上債権が増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は40,404百万円(前連結会計年度末比3,392百万円増加)となりました。これは主に仕入債務や借入金が増加したこと等によります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は55,605百万円(前連結会計年度末比751百万円増加)となりました。これは主に利益剰余金等の株主資本が増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月1日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,790,082	16,784,364
受取手形及び売掛金	25,200,204	26,106,446
商品及び製品	6,343,924	6,997,102
仕掛品	650,566	809,545
原材料及び貯蔵品	5,195,751	5,704,732
その他	1,316,124	1,560,260
貸倒引当金	△112,531	△108,832
流動資産合計	53,384,121	57,853,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,804,889	10,121,559
機械装置及び運搬具(純額)	9,226,349	9,637,423
土地	6,458,132	6,438,811
リース資産(純額)	28,746	21,208
建設仮勘定	1,336,417	1,169,484
その他(純額)	741,278	706,140
有形固定資産合計	27,595,814	28,094,628
無形固定資産		
のれん	291,959	148,276
リース資産	11,995	26,278
その他	2,147,153	1,712,835
無形固定資産合計	2,451,107	1,887,389
投資その他の資産		
投資有価証券	6,571,580	5,513,747
長期貸付金	54,286	49,538
退職給付に係る資産	563,405	656,532
繰延税金資産	443,347	530,597
その他	806,311	1,427,790
貸倒引当金	△3,770	△3,770
投資その他の資産合計	8,435,162	8,174,435
固定資産合計	38,482,084	38,156,453
資産合計	91,866,206	96,010,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,727,414	18,981,714
短期借入金	6,490,266	8,323,295
1年内返済予定の長期借入金	443,906	743,687
リース債務	11,739	16,551
未払法人税等	569,420	611,534
賞与引当金	656,720	399,546
役員賞与引当金	70,422	73,782
その他	2,850,672	3,354,000
流動負債合計	28,820,563	32,504,110
固定負債		
社債	1,170,000	826,000
長期借入金	4,396,471	4,321,621
リース債務	29,452	33,263
繰延税金負債	1,021,590	839,739
役員退職慰労引当金	—	140,516
役員株式給付引当金	93,575	141,608
退職給付に係る負債	1,116,690	1,200,726
資産除去債務	314,607	321,904
その他	49,054	75,341
固定負債合計	8,191,441	7,900,722
負債合計	37,012,004	40,404,832
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	7,297,981	7,367,227
利益剰余金	28,937,991	30,518,983
自己株式	△828,559	△495,599
株主資本合計	43,921,432	45,904,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,219,427	2,412,953
為替換算調整勘定	442,192	293,073
退職給付に係る調整累計額	△409,332	△351,491
その他の包括利益累計額合計	3,252,287	2,354,535
非支配株主持分	7,680,481	7,346,073
純資産合計	54,854,201	55,605,240
負債純資産合計	91,866,206	96,010,073

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	69,678,269	71,781,070
売上原価	57,016,087	58,855,026
売上総利益	12,662,181	12,926,043
販売費及び一般管理費	8,764,632	8,787,885
営業利益	3,897,548	4,138,158
営業外収益		
受取利息	19,499	25,797
受取配当金	121,640	140,600
為替差益	27,096	—
その他	109,881	95,104
営業外収益合計	278,118	261,501
営業外費用		
支払利息	137,115	157,812
為替差損	—	4,491
その他	15,954	9,474
営業外費用合計	153,069	171,778
経常利益	4,022,597	4,227,881
特別利益		
固定資産売却益	5,111	3,390
投資有価証券売却益	98,096	292,203
負ののれん発生益	—	19,487
特別利益合計	103,207	315,082
特別損失		
固定資産売却損	5,945	1,408
固定資産除却損	28,025	21,811
環境対策費	—	25,587
特別損失合計	33,970	48,807
税金等調整前四半期純利益	4,091,833	4,494,156
法人税等	1,272,940	1,166,019
四半期純利益	2,818,892	3,328,136
非支配株主に帰属する四半期純利益	968,779	966,505
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,850,113	2,361,631



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	2,818,892	3,328,136
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	863,787	△807,100
為替換算調整勘定	△218,652	△237,568
退職給付に係る調整額	47,588	57,841
その他の包括利益合計	692,723	△986,827
四半期包括利益	3,511,616	2,341,309
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,600,856	1,463,879
非支配株主に係る四半期包括利益	910,760	877,429

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	49,120,119	9,629,654	8,241,293	66,991,066	2,687,203	69,678,269	—	69,678,269
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	180,856	60,734	311	241,902	744,299	986,201	△986,201	—
計	49,300,975	9,690,388	8,241,604	67,232,968	3,431,502	70,664,470	△986,201	69,678,269
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,850,001	△242,241	543,059	4,150,819	△58,863	4,091,955	△194,406	3,897,548

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△194,406千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	50,545,656	10,098,303	8,251,027	68,894,988	2,886,082	71,781,070	—	71,781,070
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	196,553	35,777	420	232,750	698,098	930,848	△930,848	—
計	50,742,209	10,134,080	8,251,447	69,127,738	3,584,180	72,711,918	△930,848	71,781,070
セグメント利益又は セグメント損失(△)	3,836,888	△35,334	415,654	4,217,207	72,284	4,289,492	△151,334	4,138,158

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△151,334千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しています。